

PAT-NO: JP363185638A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 63185638 A
TITLE: DOCUMENT OUTPUT DEVICE
PUBN-DATE: August 1, 1988

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
FURUKAWA, FUMIO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
CANON INC	N/A

APPL-NO: JP62017930

APPL-DATE: January 28, 1987

INT-CL (IPC): B41J003/00, G06F003/12, G06F015/20

US-CL-CURRENT: 235/432, 358/1.6, 430/43

ABSTRACT:

PURPOSE: To enable smooth output of document data to a two color printing output device without requiring rewrite, at the time of outputting the document data formed in a single black color from a red and black two color output device, by providing a means for modifying the color of a random character data into red during printing stage.

CONSTITUTION: An output means 13c transfers character data in a document data eddited in a composing means 13a to a display control section 3. A character generator (CG) 14 generates a dot pattern of a character based on a character code fed from the output means 13c. The dot pattern is transferred to VRAM2 or a printer 10 so as to be displayed or printed. An output

device judges whether said data are for two color printing of red and black of for a single color printing of black at the stage when a document file is transferred to the output means 13c. If said data are for a single color printing, they are fed straight to the display control section 3 then outputted. It said data are for two color printing, it is specified that which of big headline or sub-headline must be printed in red.

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio

⑫ 公開特許公報 (A) 昭63-185638

⑬ Int.CI.

B 41 J 3/00
G 06 F 3/12
15/20

識別記号

301

庁内整理番号

B-7612-2C
L-7208-5B
K-7218-5B

⑭ 公開 昭和63年(1988)8月1日

⑮ 発明の名称 文書出力装置

⑯ 特願 昭62-17930

⑰ 出願 昭62(1987)1月28日

⑱ 発明者 古川文夫 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内

⑲ 出願人 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

⑳ 代理人 弁理士 丸島儀一

明細書

1. 発明の名称

文書出力装置

2. 特許請求の範囲

あらかじめ設定されている文書情報に基づいて文書データを出力する文書出力装置において、黒色1色用で作成された文書データを赤色、黒色2色用の出力装置から出力する場合、印刷する段階で任意の文字データを赤色に変更する手段を有することを特徴とする文書出力装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は書式の情報に従い文書データを表示装置上や印刷装置などで出力する文書出力装置に関する。

(従来技術の説明と問題点)

従来の文書出力装置、例えば日本語ワードプロセッサにおいては文書を入力してC.R.T.(Cathode Ray Tube)表示装置やプリンタ装置などへ出力する場合、この文書の

情報に従い文書データを出力するが、この文書の情報にはC.R.T表示装置やプリンタ装置などの出力装置の能力を越えるような情報を含めることはできなかった。

文書データを当初作りあげた時点のC.R.T表示装置やプリンタ装置などの出力装置の能力とそれ以後にその文書データを入力した出力装置の能力と比較し、能力が上っている場合、そのまま従来の文書データを出力するのでは、その出力装置の能力を充分に発揮することができず、出力装置を変更する事自体意味のないことであった。

(問題点を解決する為の手段(及び作用))

本発明は上記欠点に鑑みてなされたものであり、出力装置において、文書データを作りあげた時点よりも、その後に使用した出力装置の能力が上った場合、例えば出力装置が黒色1色用から赤色、黒色の2色用に変更した場合、文書データを書き換えることなく能力を充分できる様に出力する文書出力装置を提供することを目的と

する。

(実施例)

第1図はこの発明の一実施例を示す文書処理装置のプロック構成図であり、1はラスタスキャン表示方式のCRT表示部、2はビデオRAM(VRAM)で、CRT表示部1の1画面のバターン展開情報を記憶する。3はこの発明の表示制御手段を兼ねる表示制御部で、VRAM2へのバターン展開制御及びCRT表示部1へのバターン読み出し制御を行う。4はマイクロプロセッサ(MPU)で、I/Oバス5を介して接続される各部を総括的に制御する。6は主メモリで、制御プログラムを内蔵するROMとデータ処理のためのRAMから構成されている。7は外部磁気ディスク装置で、文書ファイルおよび文書ファイルを管理する管理ファイルが格納されている。8はポインティングデバイス(PDO)で、CRT表示部1の表示画面の位置指定入力をを行う。9はこの発明のパラメータ付加手段となるキーボードで、文書情報、制御コマンド(固定

部3)に転送する。14はキャラクタジエネレータ(CG)で、出力手段13cから送出される文字コードに基づいて文字のドットバターンを発生させ、発生させたドットバターンデータをVRAM2またはプリンタ10に転送して表示または印字させる。15は編集手段で、データ供給源11から入力される入力データを解釈して、入力データに付加されたパラメータ情報に基づいて入力データを編集し、制御手段12を介して組版情報処理部13に出力データを転送する。

第3図は第2図に示した外部磁気ディスク装置7に格納されている文書データを説明する図である。301はファイルのヘッダ部であり、ヘッダ部にはファイルIDやファイルサイズ文書データサイズ等が格納されている。302はフォーマット情報部であり、フォーマット情報部には本文の文字サイズ、本文の書体、大見出しやノンブルの情報が格納されている。303は文章データ部であり、文章データ部には文章データが

スペース、マイナスの固定スペース等)、管理情報等を入力する。10はプリンタで、VRAM2に展開された画面情報をドット単位に印字する。なお、MPU4はこの発明の編集手段を兼ねている。

第2図は、第1図に示したMPU4の機能を説明するプロック図であり、第1図と同一のものには同じ符号を付してある。

この図において、11はデータ供給源で、文書データを制御手段12に転送する。13は組版情報処理部で、組版手段13a、ファイル作成手段13b、出力手段13c等から構成されている。組版手段13aは、制御手段12を介して入力される文書データを選択される組版情報に基づいて組版編集し、ファイル作成手段13bは組版手段13aに組版編集された文書ファイルに関するヘッダ部、フォーマット情報部、文章データ部を作成し、外部磁気ディスク装置7の所定領域に書き込み、出力手段13cは組版手段13aに組版編集された文書データの文字データを表示制御

コード情報として格納されている。

次に第4図に示すフローチャートを参照しながら本発明による1実施例の動作を説明する。例えば黒色、赤色の区別するパラメータが含まれていない文書データをプリンタやCRT表示部に出力する場合、文書ファイルが出力手段13cに移された段階で出力装置が赤色と黒色の2色刷り用か黒色のみの1色刷り用かの判断を行う(401)。出力装置が1色刷り用であればそのまま本発明の処理をせず、文書データを表示制御部3に送り、出力して終了する。出力装置が2色刷り用であれば、大見出し、中見出し等の何を赤色の文字にするかを指定させる(402)。次にヘッダ部301に格納されている文章データ部の先頭アドレスを知り、それが文章データの最後か否かの判断を行う(403)。文章データの最後までできたら本発明の処理を終了する。もし文章データの最後まできていないなら、その文字の属性が402で指定されたものか否かの判断をする(404)。指定された属性のものな

ら赤色で出力し(405)、そうでなければ黒色で出力し(407)、文章データのポインタを1つ進め(406)、それが文章データの最後か否かの判断をし(403)、最後でなければこの処理を文章データの最後にくるまでくり返す。

本発明の実施例は大見出し、中見出しを赤色の文字に変更するものであるが、例えば書体、ノンブル、柱等、赤色の文字に変更できるものはフォーマット情報302で格納されているパラメータの全てであることはいうまでもない。

(発明の効果)

以上説明したとおり、本発明を用いれば1色刷り用の構造の文書データを書き換えることなくスムーズに2色刷り用の出力装置に出力することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例を示す文書処理装置のブロック構成図、第2図は第1図に示した

MPUの機能を説明するブロック図、第3図は第2図に示した外部磁気ディスク装置7に格納されている文書ファイルの模式図、第4図は本発明の1実施例を説明するフローチャート図である。

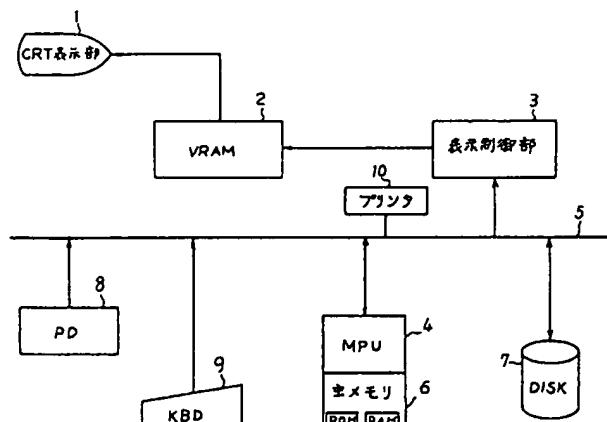
- 1 --- CRT表示部、2 --- VRAM、
- 3 --- 表示制御部、4 --- MPU、
- 5 --- I/Oバス、6 --- 主メモリ、
- 7 --- 外部磁気ディスク装置、
- 8 --- ポイントティングデバイス、
- 9 --- キーボード、10 --- プリンタ、
- 11 --- データ供給源、12 --- 制御手段、
- 13 --- 組版情報処理部、
- 14 --- キヤラクタジエネレータ、
- 15 --- 編集手段。

出願人 キヤノン株式会社

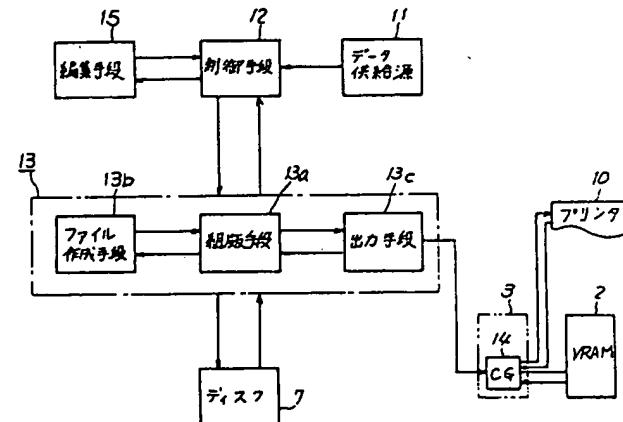
代理人 丸島儀一



第1図



第2図



第3 図

ヘ ッ タ 部	ファイル id
	ファイルサイズ
フォ ー マ ッ ト 情 報 部	文・字 サイズ
	文 章 データ サイズ
301	
302	文・字 サイズ
	書 体
303	文 章 データ 部
	ノン フ" ル

第4 図

